

マイトップニュース

安全な社会で勉強 幸せ

2014年に史上最年少でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんが故郷パキスタンに建てた女子学校が18年3月に開校しました。学校の敷地には銃を持った警備員があり、学校関係者は「安全対策は万全だ」と胸を張っている

そうです。しかし、学校襲撃の可能性は残るといわれています。そのような中で、



マララさん故郷パキスタンに学校

2014年に史上最年少でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんが故郷パキスタンに建てた女子学校が18年3月に開校しました。学校の敷地には銃を持った警備員があり、学校関係者は「安全対策は万全だ」と胸を張っている

少女190人、希望に満ち

マララさんは、パキスタンの北西部にある、タリバン武装勢力の支配下にあった地域に、女子学校を建てた。学校は、タリバンが禁止していた女子の教育を再開させた。マララさんは、学校で学んだことを、世界中に伝える活動をしている。学校は、18年3月に開校した。学校には、190人の少女が通っている。マララさんは、学校で学んだことを、世界中に伝える活動をしている。学校は、18年3月に開校した。学校には、190人の少女が通っている。

武装警備員で安全確保

学校の敷地には、銃を持った警備員がいる。学校関係者は「安全対策は万全だ」と胸を張っている。学校は、18年3月に開校した。学校には、190人の少女が通っている。

みずかみ 水上 ヒカリさん (清水中2年)

イスラム武装勢力から銃撃されても恐れることなく女子の教育を受ける権利を訴え、受賞演説で語った「地元」に学校を」という夢を実現することになりました。

私は、この記事を読んで自分の夢を実現したことにとても感動しました。また、私たちは普段当たり前のように学校生活を送っています。しかし、同じ空の向こうでは銃を持った警備員に警備された学校があることを知り、安全な社会の中で自分たちが勉強できることが幸せであると思えました。この安全で幸せな生活の中で、私も自分自身の夢をマララさんのように実現できるように努力していきたいです。